LINE-1 PP セット（プライマー・プローブのセット）

製品番号：500201　　Lot：　　　　　　　　　見本　　　研究用試薬
250 回反応分　　Exp：　　　　　　　　　　　　　　　−20℃保存（遮光）

セット内容

バイアル	ラベル	内容	
P1	LINE-1 PP セット F プライマー	300 µL	濃度 10 µM
		Forward Primer　簡易カートリッジ（OPC）精製品	
P2	LINE-1 PP セット R プライマー	300 µL	濃度 10 µM
		Reverse Primer　簡易カートリッジ（OPC）精製品	
P3	LINE-1 PP セット プローブ	100 µL	濃度 10 µM　遮光保存
		5'FAM-3'TAMRA 標識 Probe　HPLC 精製品	

□ リアルタイム PCR 標準プロトコール

［サーマルサイクル］

	サイクル数	温度	時間
UNG 活性	1	50℃	2 分 ※1
初期変性	1	95℃	10 分
PCR 増幅反応	40	95℃	15 秒
		60℃	60 秒 ※2
冷却	1	40℃	30 秒

※1 UNG を使用しない場合は不要です。
※2 加水分解プローブ FAM の蛍光モードに設定し蛍光検出を行ってください。
※基本的にはご使用のマスターミックスに従ってください。

［検量線スタンダード希釈系列の調製］
適切な検量線用スタンダード(※)の希釈系列を調製してください。
※本製品には含まれておりません。

［反応液の調製］
次の試薬を加えます。
反応本数（検量線スタンダードおよびサンプル分）
＋補填分を混合してください。

組成（1 反応あたり）	容量[µL]
滅菌水(PCR グレード) ※	5.2
LINE-1　F プライマー　　（バイアル P1）	1.2
LINE-1　R プライマー　　（バイアル P2）	1.2
LINE-1　プローブ　　（バイアル P3）	0.4
2×マスターミックス ※	10.0
合計	18.0

※本製品には含まれておりません。

［分注とセット］
混合試薬を反応ウェル、または反応チューブに分注後、テンプレート（検量線スタンダード希釈系列とサンプル DNA）を 2 µL 添加し、反応をスタートさせます。

［解析］
機器の取扱い説明書に従い、解析を行ってください。
蛍光波長は FAM の蛍光 530nm です。

□ 製品概要

目的	血漿中などから任意の方法で抽出した Cell Free DNA の濃度評価
製品内容	上記参照
方法	定量リアルタイム PCR
推奨機器	汎用のリアルタイム PCR 機器
推奨マスターミックス	2×濃度の加水分解プローブ用 PCR マスターミックス <例> ロシュ・ダイアグノスティックス社製 EagleTaq Master Mix with Rox （品番 7 260 288, 7 260 296, 7 249 926） FastStart Essential DNA Probes Master（品番 6 402 682）
反応回数	250 回
参考文献	Jinsheng Yu et al. Copy-number analysis of topoisomerase and thymidylate synthase genes in frozen and FFPE DNAs of colorectal cancers, Pharmacogenomics. 2008 Oct; 9(10): 1459-1466

製造元
施設名　株式会社 日本遺伝子研究所　合成事業部
住所　〒983-0013
宮城県仙台市宮城野区中野 1-5-28
TEL　022-388-9748
FAX　022-388-9740
E-mail　oligo@ngrl.co.jp

販売元
施設名　日本ジェネティクス株式会社
住所　〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 18 階
TEL　03-3813-0961
FAX　03-3813-0962